

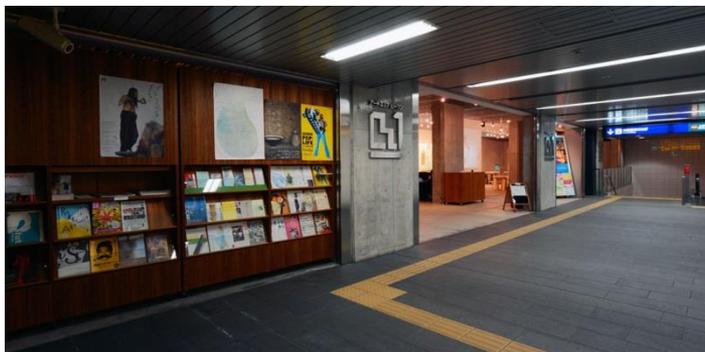
阪大CSCDラボカフェ（アートエリアB1）

アートエリアB1とは

京阪電車中之島線建設中の2006年から、京阪電気鉄道・大阪大学・NPO法人ダンスボックスが協同で、都市空間における駅の可能性を模索する「中之島コミュニケーションカフェ」を実施。これを継承して2008年10月の中之島線開業を機に、なにわ橋駅の地下1階コンコースに「アートエリアB1」を開設。様々なプログラムを実施し、「文化・芸術・知の創造と交流の場」となることを目指している。

活動内容

大阪大学コミュニケーションデザインセンター(CSCD)の行う「中之島・知と感性のネットワーク事業」のうち、「異業種カフェ」や「中之島ラウンドテーブル&ミーティング」等において、中之島まちみらい協議会と連携している。



中之島まちみらい協議会との連携事業

主催：阪大CSCD、

中之島バンクスde sign de、

中之島まちみらい協議会

支援：JST(科学技術振興機構)科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成型」

① ラボカフェ

平成26年度より、月1回程度のパネルディスカッションを開催。テーマは「アート」「防災」「鉄道」等。



② 中之島夜会

平27年度に中之島の文化・芸術が堪能できるプログラムを計3回実施。テーマは「現代美術・アート」「鉄道文化・アート」「音楽」等。



③ 防災ワークショップ

平27年度にクイズ形式のワークショップ等を計3回実施。中之島地区を3地区に分け、地区毎にワークショップを実施し、近接メンバー間でのコミュニケーションを促進。



スマートコミュニティの検討状況

平成25年度スマートコミュニティ構想普及支援事業※

補助事業者名

関電エネルギー開発(株)・中之島まちみらい協議会

対象地域

大阪市北区中之島4・5丁目

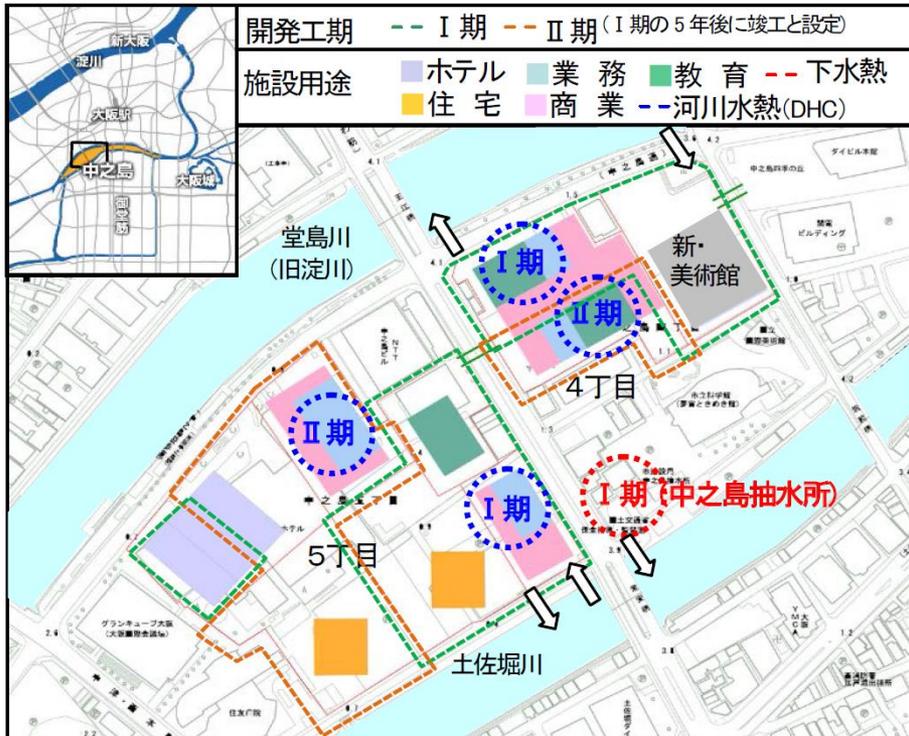
補助事業の名称

大阪中之島4・5丁目地域における下水熱・河川水熱利用地域冷暖房システムによるスマートコミュニティ構築事業

内容

(1) 補助事業の目的
都心にありながら周囲を河川に囲まれ、都市再生緊急整備地域にも指定されている大阪中之島エリアにおいて、今後の開発が期待される4・5丁目を対象に、環境性能と防災機能を兼ね備えたスマートコミュニティを目指して、地域冷暖房システムを導入し、省エネルギーと防災システムが両立する事業モデルの構築を目指す。

(2) 河川水熱の事業化の可能性
対象地域内の全ての開発において、指定容積から割増した規模で開発が行われる場合、採算性が確保できた。



※一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の「平成25年度スマートコミュニティ構想普及支援事業」の補助で実施